

デジタル変革 東京に「港」新設



インドのITサービス最大手のタタコンサルタンシーサービス（TCS）が、自社サービスとスタートアップ企業、顧客企業の連携でデジタル変革を生み出す拠点「TCSペーシング東京」を新設した。ペーシングは、今後、世界の主要都市に設置する。第1号拠点を東京にした理由は日本市場への期待感をラジェシュ・ゴピナタン社長兼最高経営責任者（CEO）に聞いた。

「東京を選んだ理由は、（複数の企業が協業しながら業界や国の枠組みを超えて共存共栄する）エコシステムがまだ小さいから。規模で、市場が拡大する余地がある。TCSのグローバルネットワークを生かしてエコシステム市場を取り込む」として、

タタコンサルタンシー サービスズ 社長兼CEO ラジェシュ・ゴピナタン氏

全案件アジャイル開発

国際企業が集まる東京が最適だと感じた。急速に進化するデジタル技術への対応を推進するビジネス4.0を提唱しています。「スピード感を持ってエコシステムにアクセスできる港という意味だ。複数のグローバル企業のビジネス変革をIT技術で実現した。当社の事例のほか、当社と連携する3500社超のスタートアップ企業、東京大学や米コネル大学など50以上の学術機関の技術にアクセスできるようにし、グローバル化に対応したデジタル変革を望む日本企業の課題を

解決する窓口になる。用には制限はないと認識が最適だと感じた。急速に進化するデジタル技術への対応を推進するビジネス4.0を提唱しています。「スピード感を持ってエコシステムにアクセスできる港という意味だ。複数のグローバル企業のビジネス変革をIT技術で実現した。当社の事例のほか、当社と連携する3500社超のスタートアップ企業、東京大学や米コネル大学など50以上の学術機関の技術にアクセスできるようにし、グローバル化に対応したデジタル変革を望む日本企業の課題を

「ペーシング」といって、デジタル技術への対応を推進するビジネス4.0を提唱しています。「スピード感を持ってエコシステムにアクセスできる港という意味だ。複数のグローバル企業のビジネス変革をIT技術で実現した。当社の事例のほか、当社と連携する3500社超のスタートアップ企業、東京大学や米コネル大学など50以上の学術機関の技術にアクセスできるようにし、グローバル化に対応したデジタル変革を望む日本企業の課題を

「ペーシング」といって、デジタル技術への対応を推進するビジネス4.0を提唱しています。「スピード感を持ってエコシステムにアクセスできる港という意味だ。複数のグローバル企業のビジネス変革をIT技術で実現した。当社の事例のほか、当社と連携する3500社超のスタートアップ企業、東京大学や米コネル大学など50以上の学術機関の技術にアクセスできるようにし、グローバル化に対応したデジタル変革を望む日本企業の課題を

記者の目

好調支える産学連携の果実
TCSは18年7-9月期の当期利益が前年同期比約12%増と伸び2四半期連続で2ケタ増を記録した。要因は国際規模でデジタル変革を進めたい欧米のグローバル企業の大規模案件を次々と受注したこと。エコシステムの拡大を推進し、世界各地の企業や大学との連携で生み出した技術革新が実を結んでいる。（水嶋真人）